

令和6年度 年間授業計画

東京都立墨田工科高等学校(定時制課程)

教科名	科目名	単位数	対象学年	対象コース
工業	自動車整備①	1	4学年	自動車コース
教科書名(出版社)		副教材・補助教材		
自動車整備(実教出版)		自動車工学1・2(実教)、三級自動車ガソリン、シャンほか		

【この科目の教育目標】

自動車整備に関わる知識と技術の習得と定着を図り、整備士に求められる能力と態度を育成する。
 自動車の概要と構成する各装置の構造や機能などについて理解する。
 自動車整備に関わる社会的な問題や基本的な原理や法則、計算などについて理解する。

【この科目の教育内容】

- (1)電気の基本と回路
- (2)自動車の電気装置
- (3)整備作業機器

【授業計画】(予定時数＝単位数×35時間)

1 学 期	電気の基本と回路 ・電気の基本 ・電気の回路 ・半導体
2 学 期	自動車の電気装置 ・バッテリー ・始動装置 ・発電装置
3 学 期	自動車の電気装置 ・点火装置

【成績評価の方法】

- (1)学習への意欲や取り組む態度、思考や表現をする力、習得した知識や技術を活用する力のほか、出席状況、定期考査、発表や提出物などの内容を総合的に判断する。
- (2)授業を欠席・遅刻をした者に実施する補講は、その取り組み内容や成果なども評価に含まれる。
- (3)考査の得点が合格基準に満たない者に実施する追試は、その取り組み内容や結果も評価に含まれる。

【特に留意すべき事項】

- 自動車整備士の養成施設の観点から、特に次の事項を留意する。
- (1)授業・補講・追試中の飲食、及び、携帯電話などの電子機器の無断使用は禁止する。
 - (2)授業に参加しない者や指示に従わないの者は、当該授業を「欠席」したものとして扱う。
 - (3)授業を欠席・遅刻した者には、補講の機会を与えるが、指定された日時を厳守すること。
 - (4)考査の得点が合格基準に満たない者には、追試の機会を与えるが、指定された日時を厳守すること。
 - (5)養成施設の年間教育時間数が不足する場合、必要な補講を実施するので、対象となる生徒は必ず受講すること。